

平成27年度
一般公開を開催

4月17日（金）～18日（土）の2日間、一般公開を開催しました。初日午後の雨以外は、暖かい晴天に恵まれ、両日で1097名もの方々にご来場頂きました。正面玄関ロビーでの研究成果の説明展示を、初めてクイズラリーと組み合わせさせて頂きました。また、研究者ガイド付き見学ツアーとして、恒例の樹木園見学に加えて、8000種の樹木の木材標本庫の見学を初企画するとともに、「放射性セシウム汚染」や「オガサワラヒメミズナギドリ」に関する3題のミニ講演会を開催しました。さらに、もりの展示ルーム公開ウッドクラフト体験、苗木プレゼントなど、多数の催しを行い、来場された皆さんに、当所の研究成果とともに、木や森の魅力にふれて頂き、たいへん盛況となりました。



研究成果の説明を聞くクイズラリー参加者



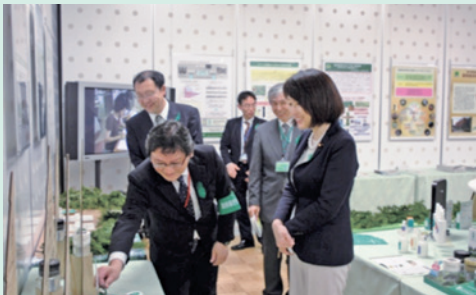
木材標本庫の施設見学の様子

農林水産省「消費者の部屋」で特別展示
『森林資源を余さず使う新技術』を開催

農林水産省内の「消費者の部屋」（省の取り組みを消費者にわかりやすく伝える展示コーナー）において、当所が主催する特別展示「森林資源を余さず使う新技術―空気浄化剤から高機能繊維まで―」を4月20日から5月1日まで開催しました。当展示では、トドマツの枝葉から抽出した精油を原料とした「空気浄化剤」とともに、林地残材を原料とした「木粉・プラスチック複合材」、「木製トレイ」、「半炭化ペレット燃料」、「セロロースナノファイバー」等、森林から出る「未利用バイオマス」を有効利用する新技術を紹介しました。会場では、さわやかな香りを楽しめるトドマツの精油サンプルが配布されました。連日180名近い、多くの入場者を迎え、好評を博す展示となりました。



消費者の部屋展示の様子



中川郁子農林水産大臣政務官（右端）が展示視察

「くるみんマーク」
（次世代認定マーク）の取得

当所においては、次世代育成支援対策推進法第十二条に基づき次世代育成支援行動計画（平成22年4月～平成26年10月）を作成し、計画達成に向かって取り組んでまいりました。

この度、当所の次世代育成支援対策の取り組みは、その実施状況が優良な事業所であるとして、厚生労働大臣より「基準適合一般事業主」に認定され、くるみんマークが授与されました。

今後新たな目標を持ってワーク・ライフ・バランスの促進を図り、豊かな森林を育てるよう、次世代育成支援対策を積極的に進めてまいります。



授与式の様子
鈴木企画・総務担当理事（右）、茨城労働局長（中央）、宮本男女共同参画室長（左）



局長との懇談の様子

多摩森林科学園・春の企画開催 『みやこの桜を愉しみましょう』

多摩森林科学園では森の科学館、サクラ保存林、樹木園を通常で一般公開していますが、とりわけ春には様々なサクラが開花し、多くの人々が見学に訪れます。サクラ保存林ではサクラの遺伝資源を保全するため、伝統的な栽培品種や全国の名木など、接ぎ木で増殖した約600系統、1300本のサクラが植栽されています。

今年の春は、それらの中から京都の桜に注目してご紹介しました。京都御所の左近の桜をはじめ、仁和寺や平野神社はいまでも京都の代表的なサクラの名所ですが、京都で佐野藤右衛門や京都府立植物園などが収集・増殖を行ったサクラが多摩森林科学園のサクラ保存林にもあります。園内の散策用に「京都ゆかりの桜」を紹介する桜めぐりマップを配布しました。

森の科学館では、京都のサクラの由来や歴史を紹介する解説パネルを設置し、京都ゆかりのサクラの写真も展示しました。

また、サクラ保存林にある重要な約300系統のサクラについて、DNA分析と形態観察に基づく新たな視点から紹介した「サクラ保存林ガイド」も、園内や一般書店で発売しています。



「サクラ保存林ガイド」



園内風景



園内風景

森林総合研究所研究報告



Vol.14-No.1 (通巻434号)
2015年3月発行
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/>

論文

腐肉食性シテムシ科・コガネムシ上科食糞群を指標として用いた森林環境評価手法：捕獲におけるベイトタイプ、トラップタイプおよびトラップ数の効果
上田 明良

東カリマンタン州での糞・腐肉食性コガネムシ類捕獲におけるベイト間およびビットフォールトラップのタイプ間の比較 (英文)
上田 明良, ティアン・ドワイバドラ, ウオロ・ノエルジト,

近雅博, 福山 研一

ソータ・アントラキン蒸解スキバルブを用いた半回分培養法によるセルラーゼ生産 (英文)
渋谷源, 眞柄謙吾, 野尻昌信

短報

エソモンガ *Pleomys volans* の貯食の可能性

— 自動撮影装置による観察 —

松岡 茂

原木シイタケ・原木マイタケ・菌床アラゲキクラゲ栽培施設で発生したリュウコツナガマドキノコバエとフタマタナガマドキノコバエ(双翅目キノコバエ科)
末吉昌宏, 村上康明, 川口真司, 小島靖, 前田由美

研究資料

インドネシア共和国東カリマンタン州ブキットスハルトとブキットパンキライのクワガタムシ (英文)
榎原真, スギアルト, 藤岡 剛

添畑沢スギ間伐試験地における

45年生から104年生までの長期成長データ

正木隆, 大住克博, 関剛, 森茂太, 梶本卓也, 榎岡 岳

八木橋 勉, 柴田 鏡江, 野口 麻穂子